

5 水をむだにしない

わたしたちが使っている水は、いくらでもあるのでしょうか。
上流にダムをつくらなければ、今よりも多く利根川から水を取ることはできません。

ダムをつくるためには、そこに暮らしている人たちの生活や自然への影響など、多くの点に気を配る必要があります。

かぎりある水を大切に、むだはなくして必要なだけ利用することが、わたしたちひとりひとりに求められています。

・家庭でできること

わたしたちは、水をむだにしていますか。家庭では、風呂、洗たく、台所、トイレなどでたくさんの水を使っています。

歯をみがくときや台所で食器をあらうときなど、水を流したままにしていますか。水を「出っぱなしにしない」「出しすぎない」「しっかりためる」「こまめに止める」が水の節約の基本です。

風呂の残り湯は、そうじなどの水に利用することもできます。

水道の蛇口に取り付ける節水コマ^注など、節水グッズを活用していますか。節水型トイレや食器洗い機など、節水できる機器を導入するのも有効です。

水を節約する方法は、いろいろあります。水の使い方をもう一度見直してみましょう。

水の節約

洗面、歯磨きは洗面器やコップを使いましょう



流したままの場合、1分間に約12ℓのムダ

バケツ洗いなら3～4杯ですむ洗車も
流っぱなしのホース洗いでは24杯以上の水が必要です



県ホームページ：「意外とカンタン！ 節水の方法」
<http://www.pref.chiba.lg.jp/suisei/sessui.html>

注 節水コマ：水道の蛇口内部に取り付けるゴム製または樹脂製のコマで、水の勢いを抑えて流れ出る水を少なくする。

・農業では

農業用水は、昔は上流の水田から下流の水田へとくり返して使われていました。

水田にたまった水の一部は土にしみこんで地下水となり、地域の地下水を補給する重要な役割をもっています。

今では、水を必要な量だけ送るためにパイプを利用したり、使った水をもう一度使うための施設を設置したり、畑の野菜にスプリンクラーで散水するなどして水を大切に使っています。



用水路（パイプライン）道路に管を埋める工事の様子



反復機場

一度使った水をもう一回使うための施設



スプリンクラーによるかんがい

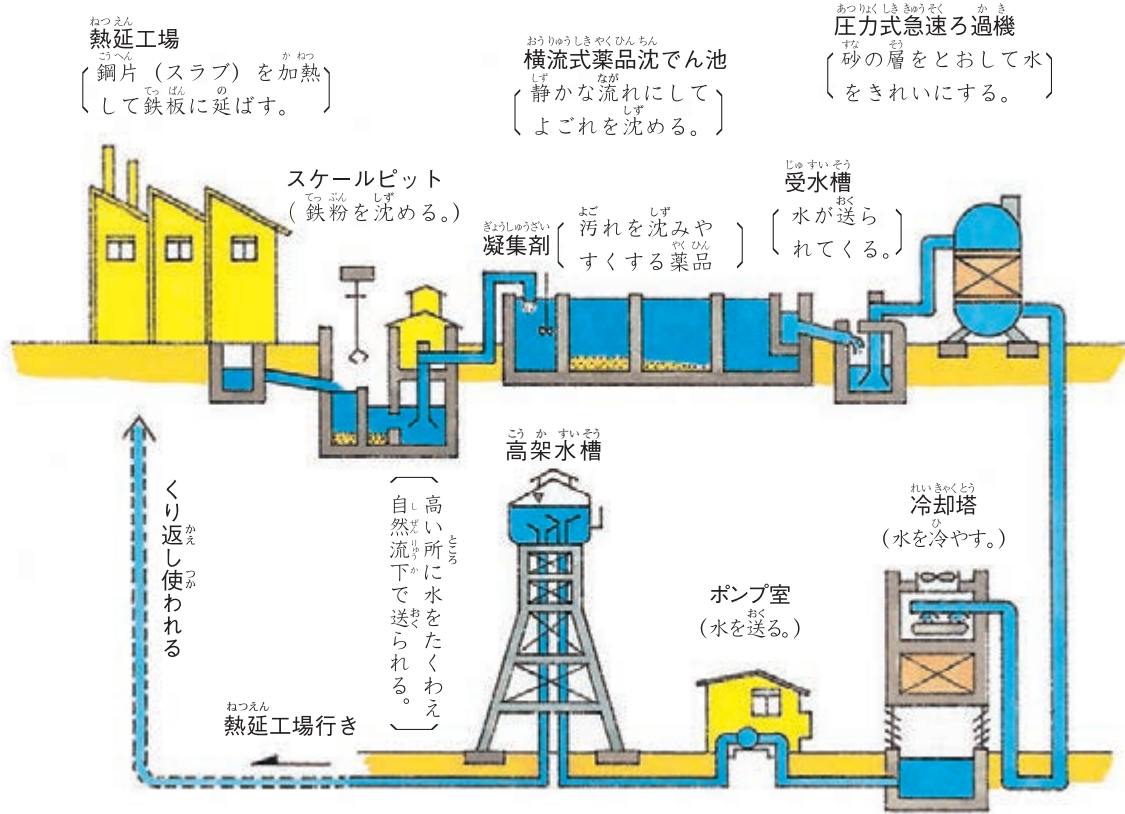
畑に散水しているようす

・工場では

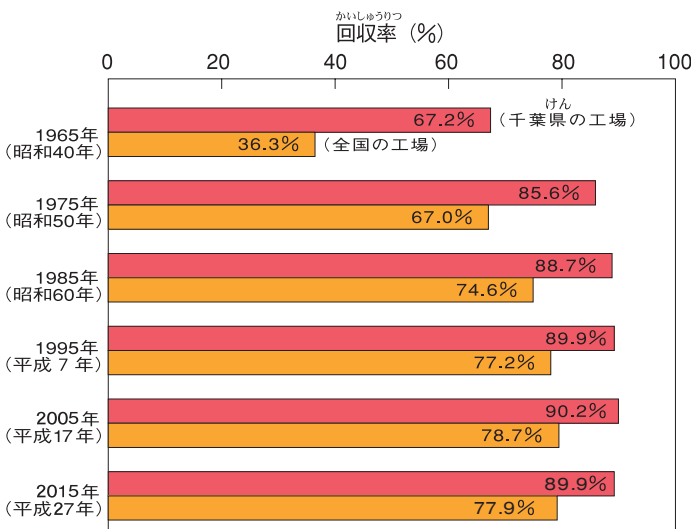
工場でも、水をくり返し使っています。くり返して使うことにより、工業用の水や井戸の水が節約されます。千葉県では、水の回収率が高く、全国で2番目*となっています。

*総務省・経済産業省公表の平成28年度経済センサス-活動調査結果（製造業）による。
平成29年工業統計調査以降は、回収水については、調査を行っていない。

工場回収水の施設 製鉄所の場合



工業用水の回収率

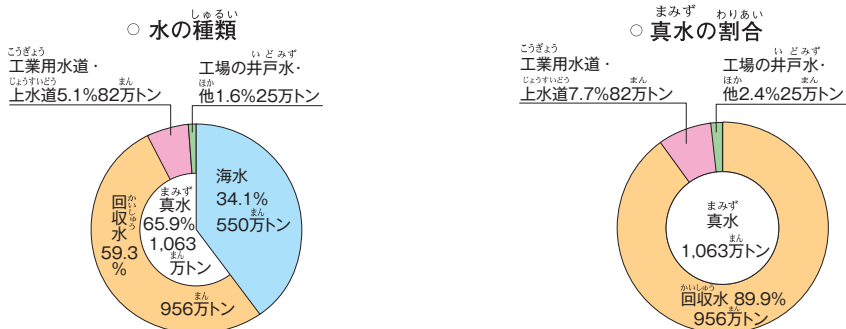


■ 回収率：工場で使う真水の全量に対して、回収水のしめる割合

■ 2015 (平成 27) 年の千葉県の工業用水の回収率※は、89.9%。仮にすべて新しい水を使ったとすると、新しい水 1,063 万トン必要なところが、回収水を 956 万トン (89.9%) 使ったことにより、新しい水は 107 万トン (10.1%) ですむことになった。

千葉県の工場の使用水量 (2015 (平成 27) 年・従業員 30 人以上の 1,318 工場)

1日平均使用水量 1,612 万トンを100%とすると、



※ 総務省・経済産業省公表の平成28年度経済センサス-活動調査結果 (製造業) による。平成29年工業統計調査以降は、回収水については、調査を行っていない。